まじょまじょ奮闘ストーリー

企画・構成
科学的教育グループ SEG®
バックナンバーは右記アドレスで公開中！ www.seg.co.jp

まじょまじょ〜リョウちゃん 修行編

第16話　〜「遊」牧民とはいうけれど〜

■作／青木亮二（SEG）
■画／金春（広真アド）

わたしはセツコ。
偉いまじょ、でございます。
本当は、正一位聖弥勒なんちゃら、って地位にいるんですけど、わたしも正確な名前は忘れましたし、リョウちゃんをはじめ、みんなもおおばーば、って呼ぶものでして。

リョウちゃんも、最近はようやくまじめに勉強をするようになってきました。
それはそれでいいことなのですけど、どうも理解があやしいことが多いのです。

このあいだ、宿題もせずに遊んでいるところをぴしゃりと注意したら、「だって、遊んでる民族だっていうんだからいいじゃん」だなんて言い返してきましたの。
よくよく聞いてみると、「遊牧民」という言葉を学んだようでして、字面だけを見て「遊びほうけている民族」と理解してしまったようです。

ということで、今回は、リョウちゃんを連れてモンゴルという国の、遊牧民のもとを訪れたのです。
遊牧民というのは、同じ地にいつづけることなく、家畜を育てるのに適した場所を求めて、季節ごとに移り住む人たちのことです。
家を解体しては持ち運び、移り住む先で再度家を作り直して、と、それは大変な生活なのですが、リョウちゃんったら、「ほら、おうちの分解ごっこして遊んでるじゃん！」ですって。

わたしは、魔法の力で10秒だけリョウちゃんを囲炉裏の火であぶってあげましたわ。

遊牧民たちは、ヒツジや牛といった動物たちをたくさん飼育しています。
毛皮から衣服を作ったり、生活に必要なものを動物たちから生み出しているのです。
リョウちゃんも、そんな彼らを見て、ようやくただ遊んで暮らしているだけではないことが分かってきたようですね。

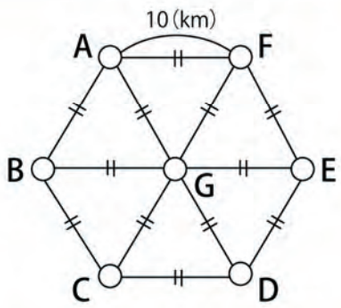
そんな中、わたしたちは、運よく、大人数で移動中の遊牧民たちに遭遇することができました。
たくさんのラクダたちが、いっぱいの荷物を背負い、人々とともにぞろぞろと移動するさまを、リョウちゃんとふたりでほうきの上から見学しましたわ。

リョウちゃんは、そんなシーンを見ながら何かを思い立ったようですが、わたしはわたしで算数の問題が浮かんでまいりました。
みなさんも、一緒に考えてみてくださいな。

Q おおばーばの問題

右の図のように、7つの地点があります。
Aと書かれた地点から、毎回10（km）ずつ移動して、6回の移動で、B、C、D、E、F、Gすべての地点を1回ずつ訪れたいと思います。

そのような方法は、全部で何通りありますか？



さて、
みなさんはリョウちゃんがいったい、何を考えついたと思いますか？
お仲間のヘビたちをたくさん連れて、「遊牧民ごっこ」、ですって！

でも、ただ遊んでいるだけかと思ったら、ヘビたちと一緒に、わたしの算数の問題を考えているみたいですね。

しかるタイミングを逃してしまったようです。

A 問題の解答

はじめにGに進む場合は、その続きはG→B→C→D→E→F、あるいはG→F→E→D→C→Bと進むしかありません。
これでまず2通りの方法があります。
あとは、はじめにBに進むか、Fに進むか、2つの方法があります。はじめにBに進む場合を考えましょう。
A→B→Gと進む場合は、その続きはG→C→D→E→Fと進むか、G→F→E→D→Cと進むかの2通りで、
A→B→C→Gと進む場合も、A→B→C→D→Gと進む場合も、その続きは2通りです。
A→B→C→D→Eと進む場合、その続きはE→F→GかE→G→Fのどちらかで、やはり2通りですから、
合計2+2+2+2=8通りあると分かります。
はじめにFに進む場合も同様に合計8通りあるので、答えは2+8+8=［18（通り）］と分かります。

人物紹介

リョウちゃん

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。目の前のものをかわいいヘビに変えるのが特技。

おおばーば
（本名はセツコ）

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある、なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。

「まじょまじょリョウちゃん 修行編」は、原則として毎月第1木曜日に掲載します。